

はじめに

◎第19期277回隠岐海区漁業調整委員会を開催しましたので、概要をお知らせします。

出席委員（敬称略）：小中、仁田、安部、田中、濱田、森、影原

欠席委員（ ）：葛西、扇谷、池田

開催日時：平成21年3月23日（月） 14：10～15：30

開催場所：隠岐郡隠岐の島町西町 JFしまね西郷支所 3F会議室

議題

1. 島根県の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画の変更について（諮問）

平成20年漁期（漁期は平成20年7月1日から平成21年6月30日）のサバ類の漁獲量がTAC（漁獲可能量）割当量を超える見込みとなったため、水産庁に2度目の追加配分を要望したところ、下表のとおり提示されました。このことについて、知事から諮問があり、委員会において審議を行いました。委員からは、今回の計画の変更について質問があったほか、TAC制度についての意見交換がなされました。

《審議の結果》この諮問について、異議なしの答申をすることになりました。

〔表〕

第一種特定海洋生物資源の種類	平成20年1～12月の知事管理量※1			平成21年1～12月の知事管理量※1
	当初	変更後	再変更後	当初
マイワシ	若干	若干	若干	若干
マサバ及びゴマサバ	14,000トン	17,000トン	26,000トン	(※2)
マアジ	26,000トン	28,000トン	28,000トン	34,000トン
スルメイカ	若干	若干	若干	若干
ズワイガニ	若干	若干	若干	(※2)

※1 ズワイガニ、マサバ及びゴマサバについては、7月から翌年6月の知事管理量。

※2 マサバ及びゴマサバ、ズワイガニの漁獲可能量は、管理対象となる期間が開始される前までに設定。

2. まき網資源回復計画について（報告）

資源回復計画の概要について下記のような報告がありました。

委員からは、まき網漁業でのこのような取り組みに対する驚きと資源が回復する事への期待、具体的な取り控えの方法の難しさ等について意見が述べられました。

【報告の概要】

- ・資源回復計画とは資源が減少傾向にある重要魚種を回復させることを目的とした取り組みで、これまで、アカガレイ、ズワイガニ、ベニズワイガニといった特定の魚種や、沖底や小底といった漁業種類について取り組みがなされている。
- ・島根県では、まき網漁業の漁獲対象魚種であるマアジ、マイワシ等の資源回復をめざし、小型魚の取り控えを主体とした回復計画を策定しているところ。

3. 平成20年度ヨコワ曳き縄釣りについて（報告）

平成20年度のマグロ養殖用種苗採捕を目的としたヨコワ曳き縄釣り漁業に関する状況について、下記のとおり報告されました。委員からは、西郷で設置している漬けの状況等について質問がありました。

また、海士町の漁業者グループが新たに参入するとの情報が委員から寄せられ、事務局としては、隠岐島全体でのヨコワ釣り連絡会に加盟していただくようお願いしました。

【報告の概要】

- ・平成15年には、浦郷35隻、知夫9隻であったが、平成20年には90隻となった。
- ・養殖用種苗採捕依頼尾数：平成15年57,000尾→平成20年100,000尾と大きく増加。
- ・西郷では漬けを用いて漁獲している。

4. マグロ延縄釣りの試験操業について（報告）

大型マグロの漁獲をめざし、西ノ島の漁業者グループが計画していた延縄漁業について、漁労設備準備の難しさ等から、より簡便な樽流し釣りによる漁法に変更したという報告がありました。

【報告の概要】

- ・西ノ島においてマグロ延縄漁業の着業要望有り。
- ・平成21年度より自由漁業で試験的な操業を行う。
- ・平成20年9月22日の隠岐海区漁業調整委員会にて報告。
- ・その後、漁労設備の準備等の問題を勘案し、延縄から樽流し釣りに変更。

5. 規制改革会議の状況について（報告）

今回、内閣総理大臣の諮問機関である規制改革会議から水産分野における提言があったことを受け、それに対する水産庁の意見等について報告がありました。

委員からは、地元に住んでいる住民（漁業者）の意見を無視しないでもらいたいといった意見などが出されました。

【報告の概要】

- ・小泉内閣の時に設置された規制改革・民間開放推進会議に端を発する機関。
- ・様々な分野において規制改革を推進するための提言を行う。
- ・水産分野の中から漁業権及び漁業許可に関する提言と、それに対する水産庁の反論について紹介。

おわりに

◎長梅雨の候、紫陽花は日増しに色濃く変わっていき、まだまだうっとうしい毎日が続きますが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。この度、新年度になり初めての海区便りを発行いたしましたのでご一読ください。

◎7月に入り、隠岐ではサザエ漁が解禁となり、白いか釣りもこれから本格的なシーズンを迎えます。サザエや白いかを食べると夏が来たという感じがしますね。一方で、この季節、海水浴や釣りなどの海洋性レジャーに出かけられる機会が増える事と思います。一般の人は漁業権対象魚種となっているアワビ、サザエ、ウニなどを捕ることは出来ませんので注意しましょう。また、海岸や砂浜ではゴミは必ず持ち帰り、地域住民や漁業者の迷惑にならないよう心がけましょう。